

みんないいひと体験講座 メニュー一覧

☆例示する体験メニューは全て1回の授業で行う場合を想定しています。

☆原則、講話と体験をセットとして正味90分程度となります。



1 肢体不自由者（車いす利用者）の理解

| | | | |
|----------------|---|----------|--------|
| 名 称 | 肢体に障がいのある方の講話 | | No.1 |
| 内 容 | 肢体に障がいのある方から生活上の体験や児童・生徒にできるお手伝いについてお話をいただきます。 | | |
| 適正な体験人数 | 全校児童・生徒でも可 | 体験に要する時間 | 20～60分 |
| 担当団体・個人 | 市内在住の肢体障がい者(車いす利用者) | | |
| 会 場 | 1階の教室もしくは体育館 ※ 控室も1階の教室を用意してください | | |
| 必要な備品 注意事項等 | ① 車いす体験・ハンディキャブ・ボランティア号体験との併用も可能です。 ② 送迎をお願いする場合があります。 ③ 講師によってはビデオやプロジェクター等を使用します。 | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり 1,000円～5,000円程度の現金もしくは金券 | | |

| | | | | | | |
|---|--|-------------------------|-------|---|---|-------------------------|
| 名 称 | 車いす体験 | | No.2 | | | |
| 内 容 | 車いすで学校内や近隣を通ることや簡単な介助の体験をもとに身近なバリアフリーについて考えます。 | | | | | |
| 適正な体験人数 | 40名以下 | 体験に要する時間 | 60分以上 | | | |
| 担当団体・個人 | 市社協職員もしくは地域で福祉活動を行っているボランティア等 1～3名 | | | | | |
| 会 場 | 体育館もしくは校庭・学校外周 ※ 雨天の場合を考慮し、体育館または室内（例…1階の渡り廊下や教室）を必ず確保してください。 | | | | | |
| 必要な備品 注意事項等 | <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: middle;"> ① 車いす20台（市社協管理備品） ※ 車いすは2人に1台必要です。 ② 段差・スロープ・波状路（市社協管理備品） ③ 大きめのマット6～8枚（室内の場合、学校準備） ※ 縦に3～4枚×2列に敷いてください。 ④ 布ガムテープ（室内の場合、学校準備） ⑤ 動きやすい服装でお願いします。 </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle; padding: 0 10px;">}</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 学校、会場内での 運搬にご協力ください。 </td> </tr> </table> | | | ① 車いす20台（市社協管理備品） ※ 車いすは2人に1台必要です。 ② 段差・スロープ・波状路（市社協管理備品） ③ 大きめのマット6～8枚（室内の場合、学校準備） ※ 縦に3～4枚×2列に敷いてください。 ④ 布ガムテープ（室内の場合、学校準備） ⑤ 動きやすい服装でお願いします。 | } | 学校、会場内での 運搬にご協力ください。 |
| ① 車いす20台（市社協管理備品） ※ 車いすは2人に1台必要です。 ② 段差・スロープ・波状路（市社協管理備品） ③ 大きめのマット6～8枚（室内の場合、学校準備） ※ 縦に3～4枚×2列に敷いてください。 ④ 布ガムテープ（室内の場合、学校準備） ⑤ 動きやすい服装でお願いします。 | } | 学校、会場内での 運搬にご協力ください。 | | | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり 1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券 | | | | | |
| その他 | 車いすのみを貸し出し、先生が指導する方法もあります。 (この場合、車いすの運搬は学校の先生にお願いしています。) その際は、指導法の冊子・DVD等も貸し出しています。(事前貸出可) | | | | | |

1 肢体不自由者（車いす利用者）の理解

| | | | |
|----------------|---|----------|-------|
| 名 称 | ハンディキャブ・ボランティア号体験 | | No.3 |
| 内 容 | <p>障がいのある方の移動支援を行っているハンディキャブ・ボランティア号（車いすのまま乗れるリフト付きワゴン車）の体験から、市民の手によるボランティア、バリアフリーへの取り組みについて学びます。</p> <p>※ また、体験後に車両購入のための積み立てを行うことを目的とした使用済み切手収集等の取り組みも可能です。</p> | | |
| 適正な体験人数 | 20名以下 | 体験に要する時間 | 60分以上 |
| 担当団体・個人 | 特定非営利法人 相模原ボランティア協会 （ボランティア団体） ホームページ http://sagamiva.wordpress.com/ | 講師名 | 2名 |
| 会 場 | 教室と屋外(雨天等は体育館や校内等) ※ はじめにビデオもしくはDVD を上映いたしますので、上映が可能な教室の用意をお願いします。 | | |
| 必要な備品 注意事項等 | ① ハンディキャブ・ボランティア号（ボランティア協会所有車両） ② ビデオデッキもしくはDVD デッキ・テレビ（学校準備） ③ 障がいのある方への運行予定日は対応できません。 | | |
| 謝 礼 | 講師 1 名あたり 1,000 円～2,000 円程度の現金もしくは金券 | | |

2. 視覚障がい者の理解

| | | | | |
|----------------|--|----------|---------|--|
| 名 称 | 視覚に障がいのある方の講話 | | No.4 | |
| 内 容 | 視覚に障がいのある方から生活上の体験や児童・生徒にできるお手伝いについてお話をいただきます。 | | | |
| 適正な体験人数 | 全校児童・生徒でも可 | 体験に要する時間 | 20分～60分 | |
| 担当団体・個人 | 市内在住の視覚障がい者 | 講師数 | 1名 | |
| 会 場 | 教室もしくは体育館 | | | |
| 必要な備品 注意事項等 | <p>① 送迎の必要がありますので、学校側で講師の方との調整をお願いします。</p> <p>② 視覚障がい者の理解についての体験（No.5～8）との併用も可能です。 例>全員で講話を20分～30分聞いた後に誘導・点字などのコースに分かれて体験を行う。</p> <p>③ 盲導犬利用者の講話を希望される場合は希望日の2ヶ月以上前にご相談ください。（市内の盲導犬利用者が数名であり、お仕事の関係等で日程調整が難しいのが現状です）</p> | | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり 1,000円～5,000円程度の現金もしくは金券 ※ 金券の場合は図書カードを避けてください。 | | | |

| | | | | |
|----------------|--|----------|-------|--|
| 名 称 | 視覚障がい者誘導體験 | | No.5 | |
| 内 容 | 2人1組で、ガイドする側とガイドされる側（アイマスク着用）を交互に体験し、身近なバリアフリーについて考えます。 | | | |
| 適正な体験人数 | 40名以下 | 体験に要する時間 | 60分以上 | |
| 担当団体・個人 | ささの会（ボランティア団体） | 講師数 | 2～4名 | |
| 会 場 | 教室と校庭・学校外周（雨天等の場合、校内等） ※ はじめにビデオもしくはDVDを上映いたしますので、上映が可能な部屋の用意をお願いします。 | | | |
| 必要な備品 注意事項等 | <p>① ガイド体験セット（市社協管理備品） アイマスク・白杖他・・・運搬にご協力をお願いします。</p> <p>② ビデオデッキもしくはDVDデッキ・テレビ（学校準備）</p> <p>③ アイマスクで使用するハンカチ・ティッシュ（児童・生徒準備）</p> <p>④ <u>当日までにささの会の方（1～2名）が学校を訪問し、打合せを行います。</u></p> <p>※ 毎月第2火曜日は対応できません。</p> | | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり 1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券 | | | |

2. 視覚障がい者の理解

| | | | | |
|----------------|---|----------|-------|------|
| 名 称 | 視覚障がい者点字体験 | | | No.6 |
| 内 容 | 点字の読み書きの体験から、視覚障がい者の生活や情報のバリアフリーについて考えます。 | | | |
| 適正な体験人数 | 30名以下 | 体験に要する時間 | 60分以上 | |
| 担当団体・個人 | 相模原市点訳赤十字奉仕団（ボランティア団体） | 講師数 | 2名 | |
| 会 場 | 一般教室 | | | |
| 必要な備品 注意事項等 | ① 点字器は一人1台を学校で必ず用意してください。体験人数分がそろわない場合は、近隣の学校から借りるなどの対応をお願いします。 ② 点字用紙（特厚の用紙で代用可）を一人1枚以上用意してください。 ③ 当日までに学習資料を人数分印刷してください。（社協に原紙があります） ※ 木曜日は対応できません。 | | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり 1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券 | | | |

| | | | | |
|----------------|---|----------|-------|------|
| 名 称 | 録音（音声訳）体験 | | | No.7 |
| 内 容 | 視覚障がい者への支援活動である録音（音声訳）活動の体験から、視覚障がい者の生活や情報のバリアフリーについて考えます。 | | | |
| 適正な体験人数 | 30名以下 | 体験に要する時間 | 60分以上 | |
| 担当団体・個人 | 相模原市録音奉仕会（ボランティア団体） | 講師数 | 2名 | |
| 会 場 | 一般教室 | | | |
| 必要な備品 注意事項等 | ① 録音活動体験用機材・・・事前貸出、当日返却になります。 （あじさい会館に取りに来ていただきます） ② 録音奉仕会パンフレット・・・当日、配布してください。 | | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり 1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券 | | | |

| | | | | |
|----------------|---|----------|-------|------|
| 名 称 | 視覚障がい者スポーツ体験 | | | No.8 |
| 内 容 | 視覚障がい者と健常者がともに楽しむことができるブラインドテニスや卓球等を体験し、障がい者スポーツ支援のボランティアについて考えます。 | | | |
| 適正な体験人数 | 30名以下 | 体験に要する時間 | 60分以上 | |
| 担当団体・個人 | 視覚障がい者、個人ボランティア | 講師数 | 3名 | |
| 会 場 | 体育館もしくは一般教室 | | | |
| 必要な備品 注意事項等 | ① アイマスクで使用するハンカチ・ティッシュ（児童・生徒準備） ※ 体験で使用する機材を事前貸出・当日返却する場合があります。 （けやき体育館に取りに来ていただきます。） ※ 火曜日・木曜日は対応できません。小学生のみ対応。 | | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり 1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券 ※ 視覚障がい者の方への金券の場合は図書カードを避けてください。 | | | |

3. 聴覚障がい者の理解

| | | | |
|----------------|--|----------|-----------------------------------|
| 名 称 | 聴覚障がい者とのコミュニケーションー1 | | No.9 |
| 内 容 | 聴覚に障がいのある方の講話、簡単な手話、要約筆記について学び、聴覚に障がいのある方と一緒にコミュニケーションの方法について考えます。 | | |
| 適正な体験人数 | 30名以下 | 体験に要する時間 | 90分以上 |
| 担当団体・個人 | 相模原市聴覚障害者協会 手話通訳者 筆記通訳サークルもみじ | 講師数 | 6名：聴覚障がい者2名 手話通訳者1名 要約筆記者3名 |
| 会 場 | 一般教室（2教室必要） | | |
| 必要な備品 注意事項等 | <p>① 講話20分・手話50分・要約筆記20分の合計90分の授業です。 ※ 手話・要約筆記について短時間ではありますが、参加者全員が学べます。</p> <p>② 要約筆記では、OHC（市社協管理備品）、スクリーン（TV 代用可）、ロールペーパー（講師持参）を使用します。</p> <p>③ 要約筆記ではマジックペンとA4用紙4枚を人数分用意してください。</p> <p>④ 手話の教室には受講人数分のイスを用意してください。机は置きません。要約筆記の教室には机・イスを用意してください。</p> <p>⑤ ②～④については、講師との打合せ時に再確認してください。</p> <p>※ 木曜日は対応できません。</p> | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり 1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券 | | |

| | | | |
|----------------|--|----------|-----------------------------------|
| 名 称 | 聴覚障がい者とのコミュニケーションー2 | | No.10 |
| 内 容 | 聴覚に障がいのある方の講話、簡単な手話、要約筆記について学び、聴覚に障がいのある方と一緒にコミュニケーションの方法について考えます。 | | |
| 適正な体験人数 | 60名以下 | 体験に要する時間 | 90分以上 |
| 担当団体・個人 | 相模原市聴覚障害者協会 手話通訳者 筆記通訳サークルもみじ | 講師数 | 6名：聴覚障がい者2名 手話通訳者1名 要約筆記者3名 |
| 会 場 | 一般教室（2教室必要） | | |
| 必要な備品 注意事項等 | <p>① 講話30分を60名で聞いた後、手話コースと要約筆記コースに分かれそれぞれ60分、合計90分の授業となります。 ※ 手話・要約筆記について多くの時間をとって学ぶことができます。</p> <p>② 要約筆記では、OHC（市社協管理備品）、スクリーン（TV 代用可）、ロールペーパー（講師持参）を使用します。</p> <p>③ 要約筆記ではマジックペンとA4用紙4枚を人数分用意してください。</p> <p>④ 手話の教室には体験人数分のイスを用意してください。机は置きません。要約筆記の教室には机・イスを用意してください。</p> <p>⑤ ②～④については、講師との打合せ時に再確認してください。</p> <p>※ 木曜日は対応できません。</p> | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり 1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券 | | |

3. 聴覚障がい者の理解

| | | | |
|----------------|---|----------|-----------------------------------|
| 名 称 | 聴覚に障がいのある方の講話 | | No.11 |
| 内 容 | 聴覚に障がいのある方の生活上の体験やコミュニケーションの方法についてお話をさせていただきます。 | | |
| 適正な体験人数 | 全校児童・生徒でも可 | 体験に要する時間 | 20～60分 |
| 担当団体・個人 | 相模原市聴覚障害者協会 手話通訳者 筆記通訳サークルもみじ | 講師数 | 5名：聴覚障がい者2名 手話通訳者1名 要約筆記者2名 |
| 会 場 | 体験人数が集まって話を聞ける場所(校内) | | |
| 必要な備品 注意事項等 | 聴覚に障がいのある方から生活上の体験や児童・生徒にできるお手伝いについてお話をいただきます。 ※ 木曜日は対応できません。 | | |
| 謝 礼 | 聴覚に障がいのある方には3,000円～5,000円程度、手話通訳者には1名4,000円、要約筆記者には1名3,500円の現金もしくは金券。 | | |

4. 重複障がい者への理解

| | | | | |
|----------------|---|----------|-------|-------|
| 名 称 | 盲ろう体験 | | | No.12 |
| 内 容 | 視覚及び聴覚に障がいのある方の疑似体験を通して、盲ろう者とのコミュニケーションについて考えます。 | | | |
| 適正な体験人数 | 30名以下 | 体験に要する時間 | 60分以上 | |
| 担当団体・個人 | 個人ボランティア（盲ろう者・通訳者） | 講師数 | 7～8名 | |
| 会 場 | 一般教室 | | | |
| 必要な備品 注意事項等 | ① 体験人数分のアイマスク（市社協備品貸出可）が必要です。 ② 当日までに学習資料を人数分印刷してください。（社協に原紙があります） ③ ビデオを上映する場合があります。その際はビデオが上映できる会場をご用意ください。 ④ 機材（ヘッドホン、デジタルオーディオプレイヤー等）は、事前貸出・当日返却です。（あじさい会館に取りに来ていただきます。） | | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券 | | | |

| | | | | |
|----------------|---|----------|-------|-------|
| 名 称 | 重度障がいのある方の講話 | | | No.13 |
| 内 容 | 筋ジストロフィーのため生活すべてに介助が必要でありながら会社経営をしている方のお話を通じて働くこと、生きることについて考えます。 | | | |
| 適正な体験人数 | プロジェクターの映像が観れる範囲 | 体験に要する時間 | 40分程度 | |
| 担当団体・個人 | 市内在住の肢体障がい者（車いす利用者）であり障がい福祉事業の経営者の方です。 | | | |
| 会 場 | 教室もしくは会議室 ※ 車いすを利用しているので控え室も含めて1階で開催してください。 | | | |
| 必要な備品 注意事項等 | ① 普段人工呼吸器を使用していて金曜日のみ言葉が発せるため金曜日の開催をお願いします。 ② マイク（スタンド付き）とプロジェクターを使用します。 | | | |
| 謝 礼 | 講師1名と付き添いの交通費5,000円～10,000円程度の現金 | | | |

5. 高齢者の理解

| | | | |
|----------------|---|----------|--------|
| 名 称 | 認知症についての講話 | | No. 14 |
| 内 容 | 市内で認知症について活動している団体の方から高齢者との接し方や自分たちにできることについてお話をいただきます。 | | |
| 適正な体験人数 | 全校児童・生徒でも可 | 体験に要する時間 | 30分程度 |
| 担当団体・個人 | 特定非営利法人 Link・マネジメント ホームページ http://link-npo.com/ | | |
| 講師数 | 体験人数によって変更します。 | | |
| 会 場 | 教室もしくは体育館 | | |
| 必要な備品 注意事項等 | パソコン・プロジェクター・スクリーンをご用意ください（準備できない機材がある場合はご相談ください） | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり1,000円～2,000円程度もしくは団体に対して3,000円以上程度の現金 | | |

| | | | |
|----------------|--|----------|--------|
| 名 称 | 認知症サポーター養成講座 | | No. 15 |
| 内 容 | 市内で認知症について活動している団体の方からのお話や疑似体験を通して高齢者との接し方や自分たちにできることについて考えます。 | | |
| 適正な体験人数 | 100名以下 | 体験に要する時間 | 60分以上 |
| 担当団体・個人 | 認知症サポーターネットワーク@さがみはら ホームページ http://sagasapo.com/ | | |
| 講師数 | 体験人数によって変更します。 | | |
| 会 場 | 教室もしくは体育館 | | |
| 必要な備品 注意事項等 | ① パソコン・プロジェクター・スクリーンをご用意ください（準備できない機材がある場合はご相談ください） ② 後半はグループワークを行います。 ③ 人数によって内容を組み立てることが可能です。 ④ 複数の学年にまたがる形はさけて下さい。 | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり交通費程度の現金もしくは金券 | | |
| その他 | 受講者は認知症サポーターとして認定されその目印となる「オレンジリング」をお渡しします。 | | |

5. 高齢者の理解

| | | |
|----------------|---|-------------------|
| 名 称 | 高齢者疑似体験 | No. 16 |
| 内 容 | 高齢者疑似体験セット（エルダー・トライ）を通して高齢者との接し方やどのように配慮することが大切なのかを考えます。 | |
| 適正な体験人数 | 30名以下 | 体験に要する時間 60分以上 |
| 担当団体・個人 | 学校の先生 | |
| 会 場 | 一般教室もしくは校庭・学校外周 | |
| 必要な備品 注意事項等 | ① 高齢者疑似体験セット（エルダー・トライ）…市社協管理備品 ② 視覚・聴覚等に関する日用品（学校準備） 例>>新聞紙、本（教科書でも可）、ラジオ、筆記用具等 | |
| その他 | 市社協にて体験セットと指導の手引（事前配布可）をご用意しています。 原則として、体験セットのみを貸し出し、先生が指導することになります。 体験だけでなく、他講座の講話とセットにすることもできます。 | |

6. その他、ボランティア活動等への理解

| | | | | |
|----------------|--|----------|-------|-------|
| 名 称 | パソコンボランティア体験 | | | No.17 |
| 内 容 | 障がいのある方の講話を聞いた後、視覚障がい者が使用する音声読み上げソフト等、支援ソフト・機器などを用いてパソコンの体験をすることにより、障がい者の情報保障やコミュニケーション、バリアフリーについて考えます。 | | | |
| 適正な体験人数 | 30名以下 | 体験に要する時間 | 90分以上 | |
| 担当団体・個人 | パラボラ相模原（ボランティア団体） ホームページ http://www.parabora-sagamihara.jp/ 特定非営利活動法人パラボラジャパン ホームページ http://parabolajapan.com/ | | 講師数 | 6～7名 |
| 会 場 | パソコンルーム等 | | | |
| 必要な備品 注意事項等 | ① 学校のパソコン使用やノートパソコン持ち込み等の準備があるために、事前に数回の打合せが必要です。 ② ヘッドホン・イヤホンが人数分必要です。（学校もしくは生徒準備） 対応は原則として1ヶ月に1校となります。 | | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券。または相談により団体に対して5,000円以上の現金 | | | |

| | | | | |
|----------------|--|----------|---------|-------|
| 名 称 | 地域ボランティアによる講話 | | | No.18 |
| 内 容 | 子どもたちが生活する地域で活動しているボランティアの方のお話を伺い、身近な地域でのボランティア活動についての理解を深めます。 | | | |
| 適正な体験人数 | 全校児童・生徒でも可 | 体験に要する時間 | 20分～60分 | |
| 担当団体・個人 | 学校区で活動するボランティアの方 | 講師数 | 1～3名 | |
| 会 場 | 教室もしくは体育館 | | | |
| 必要な備品 注意事項等 | 資料等の配布や掲示等について事前に講師の方々と打合せをお願いします。 | | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり1,000円～2,000円程度もしくは団体に対して3,000円以上程度の現金もしくは金券 | | | |

| | | | | |
|----------------|--|----------|-------|-------|
| 名 称 | ホームレス支援団体の方の講話 | | | No.19 |
| 内 容 | 相模原市内でのホームレスを支援している団体の方々のお話を聞き、市内のホームレス支援の現状と人権について考えます。 | | | |
| 適正な体験人数 | 全校児童・生徒でも可 | 体験に要する時間 | 45分以上 | |
| 担当団体・個人 | 木曜パトロールの会（ボランティア団体） | 講師数 | 1～3名 | |
| 会 場 | 教室もしくは体育館 | | | |
| 必要な備品 注意事項等 | 資料等の配布や掲示等について事前に講師の方々と打合せをお願いします。 | | | |
| 謝 礼 | 講師1名あたり1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券 | | | |

6. その他、ボランティア活動等への理解

| | | | |
|----------------|---|----------|-------|
| 名 称 | 災害ボランティア体験 | | No.20 |
| 内 容 | 地震等大規模災害時に行うボランティアの方々の話を伺い、災害時のボランティア活動の実際と災害時に実施される活動を体験することにより、災害時及び災害時に向けた日常の活動について考えます。 | | |
| 適正な体験人数 | 40名以下 | 体験に要する時間 | 90分以上 |
| 担当団体・個人 | 相模原災害ボランティアネットワーク (ボランティア団体) | 講師数 | 5~6名 |
| 会 場 | 教室 と 校庭（晴天時）もしくは体育館（雨天時） | | |
| 必要な備品 注意事項等 | ① 備品（ブルーシートやロープ等）は、事前貸出、当日返却になります。（あじさい会館に取りに来ていただきます。） ② はじめにビデオを上映しますので、ビデオ上映が可能な教室の準備をお願いします。 | | |
| 謝 礼 | 講師 1 名あたり 1,000 円~2,000 円程度の現金もしくは金券 | | |

| | | | |
|----------------|---|----------|-------|
| 名 称 | 赤い羽根共同募金についての講話 | | No.21 |
| 内 容 | 日ごろ、ご協力いただいている赤い羽根共同募金について、その仕組みや使い道について説明を行います。 | | |
| 適正な体験人数 | 全校児童・生徒でも可 | 体験に要する時間 | 45分以上 |
| 担当団体・個人 | 神奈川県共同募金会相模原市支会 | 講師数 | 1名 |
| 会 場 | 教室もしくは体育館 | | |
| 必要な備品 注意事項等 | ① ビデオを上映しますので、ビデオ上映が可能な教室の準備をお願いします。 ② 募金活動の準備実施期間の9月~12月は対応できない場合があります。 | | |
| 謝 礼 | 不要。 | | |

| | | | |
|----------------|---|----------|-------|
| 名 称 | 地雷廃絶についての講話 | | No.22 |
| 内 容 | 地雷被害によって障がいを感じる子どもの状況等、地雷問題の現状や世界の廃絶活動について学ぶ機会を提供します。（生徒・学生の事務局訪問も受け入れていきます） | | |
| 適正な体験人数 | 全校児童・生徒も可。 | 体験に要する時間 | 60分以上 |
| 担当団体・個人 | 地雷廃絶日本キャンペーン http://www.jcbl.jp/ | 講師数 | 1~2名 |
| 会 場 | 教室もしくは体育館 | | |
| 必要な備品 注意事項等 | ① 直接団体にお申し込みください。（ホームページ・電話・FAXから申込みできますが、詳しくは下記の電話にてお問い合わせください。） 電話 03-3834-4340（月~金曜日 午後1時~5時） ② 資料等の配布や掲示等について事前に講師の方々と打合せをお願いします。 | | |
| 謝 礼 | 謝礼は、原則講師1名につき1万円としていますが、予算に応じてご相談に応じられる場合もあります。 | | |

7. 福祉の仕事への理解

| | | | | |
|----------------|--|----------|----------|--|
| 名 称 | 福祉・介護のしごと出張セミナー | | No.23 | |
| 内 容 | <p>身近な地域で働く福祉施設の職員等を講師に、講話やグループワークなどを通して、高齢・障がい・児童などの分野がある福祉・介護の仕事について、わかりやすくその内容ややりがいを伝え、卒業後の進路や職業等、自分の将来にひきつけて考えてもらう機会をつくります。</p> <p>【プログラムの例】</p> <p>例1) オリエンテーション 5分 福祉・介護の仕事について(全般的な説明) 10分 施設職員からのお話(仕事の紹介、やりがい、選んだきっかけ等) 20分 質疑応答 10分 (計45分)</p> <p>例2) オリエンテーション 5分 福祉・介護の仕事について(全般的な説明) 10分 施設職員からのお話(仕事の紹介、やりがい、選んだきっかけ等) 30分 グループワーク 35分 ※施設職員を講師にテーマ設定のもと行います 質疑応答 10分 (計90分)</p> | | | |
| 適正な体験人数 | 1クラス(35~50名程度)が適正 ですが、ご相談ください。 | 体験に要する時間 | 45~90分程度 | |
| 担当団体・個人 | 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉人材センター | 講師数 | 2~4名程度 | |
| 会 場 | 教室等 | | | |
| 必要な備品 注意事項等 | パソコン・プロジェクター・スクリーンをご用意ください(準備できない機材がある場合はご相談ください) | | | |
| 謝 礼 | 不要 | | | |